

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	後期高齢者医療事務管理事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者	意図	後期高齢者医療制度の適正な執行を図るため。
事業内容	後期高齢者医療制度加入者（被保険者）の資格管理事務（被保険者証などの作成・交付・更新）、保険料徴収事務（保険料納入通知書の作成・送付）、給付事務（高額療養費、葬祭費、高額介護合算療養費等の支給に関する手続）を適正に執行するための事業。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年4月の制度開始以来、被保険者の資格管理、給付申請等の届出の受理、保険証の引渡し、保険料の徴収等後期高齢者医療制度事務全般に係る共通管理事務を実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	被保険者ひとりに対する事業費	182.16	177.91	154.12	円	
②	被保険者数	18,788	20,053	21,267	人		平均被保険者数
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

本事業は、後期高齢者医療制度に基づいた事務管理に係る経費であるため、流山市としての取組みや工夫によって、成果等に大きく影響を及ぼすことができない。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

本事業は、後期高齢者医療制度に基づいた事務管理に係る経費であるため、流山市としての取組みや工夫によって、成果等に大きく影響を及ぼすことができない。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,250,650	5,357,540	5,041,057
事業費(b)(円)	3,422,500	3,567,640	3,277,657
うち一般財源	3,422,500	3,567,640	3,277,657
職員給与費(c)(円)	1,828,150	1,789,900	1,763,400
人役・職員(人)	0.25	0.25	0.25
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.10	0.10	0.10
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	被保険者に対しては制度内容等の丁寧な説明を行い、また関係各課との連携を密にし、適正な事務の執行に努める。	③取組における課題(Check)	国・県の動向に注意を払いながら、関係各課との連携を図り、適正な事務の執行にあたる。
②H30に実施した取組(Do)	新規加入者等、被保険者への制度内容等の具体的な説明に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	制度内容の変更等について、被保険者に対し丁寧な説明に努める。また、国・県の動向に注視し適正な事務の執行にあたる。